

支援事例紹介

—「歩行ケアサービス」への新ビジネス展開(起業)支援—

材料技術部門

工業技術総合センターは長野県産業労働部の現地機関であり、県内製造業の発展に寄与するための試験研究機関です。技術的な課題や問題解決を、職員による分析評価（依頼試験）や設備の利用、現地相談、委託研究などを通して支援しています。今回は技術相談から始まった歩行状態を計測するシステムの開発、さらにはそのシステムを使った新しいビジネス展開までの支援の実例を紹介します。

■ 歩行計測システムの開発

依頼主であるマイクロストーン(株)(佐久市)社長が、海外の展示会において欧米人と日本人の歩行の質が大きく違うことを知ったことがこの新ビジネス起業のきっかけとなっています。歩行の際、欧米人のかかと接地時の衝撃は日本人より3割程度小さく、逆に日本人はかかと接地時の衝撃が強く、膝、腰にも大きな影響があることが分かりました。

そこで同社のセンシング技術をもとにJA長野厚生連 佐久総合病院(佐久市)と共同で当センターの技術支援により歩行状態を計測するシステム「THE(ザ) WALKING(ウォーキング) (体幹2点歩行動揺計)」(図1参照)を開発しました。このTHE WALKINGは、専用のベルトを用いて、胸椎および仙骨付近に装着した2台の無線式モーションセンサで歩行時の体幹の動きを捉え、歩行の特徴を瞬時に可視化することができます。

■ 「歩行ケアサービス」への新ビジネス展開

同社ではこのシステムを用いた「歩行ケア」により直接的に社会に貢献したいという思いから新会社「SAKUNO コーポレーション株式会社」を設立しました。この設立にあたって、モニタリング調査においては県佐久地方事務所が、当センターでは歩行計測結果の修正に関する技術的助言を行いました。「歩行ケアサービス」(図2参照)は同社による造語で、客観的な歩行計測の結果に基づき、歩行指導やシューズ、インソール等のフィッティングを行う新しいサービスを言います。

■ 同社の現状

平成28年4月26日に軽井沢町に1号店を、同年7月11日には2号店を兵庫県神戸市にオープンさせました。さらに10月には佐久市が運営する臼田健康館内にも出店が決まっています。また、佐久総合病院では7月から人間ドックの新しいオプションとしてTHE WALKINGによる歩行姿勢検診が



図1 THE WALKING (体幹2点歩行動揺計)



図2 歩行ケアサービス

開始されています。このように県内外の自治体や病院などと連携しながら地域の方の健康維持のために事業を展開しています。

■ まとめ

工業技術総合センターによる支援の実例を示しました。当センターは企業がお持ちの技術的課題に対してその実情にあわせ、様々な支援が可能です。まずはお気軽にご相談ください。

長野県工業技術総合センター
材料技術部門 製品科学部 石黒周司、大森信行
TEL:026-226-2107 FAX:026-291-6243
E-Mail:kogyoshiken@pref.nagano.lg.jp